

「鉄道存続のまちサミットIN かつやま」が開催されました！

去る12月1日（日）に勝山市民会館大ホールにて地方鉄道会議が開催されました。

基調講演は「地域振興と鉄道」と題して、関西大学の安部誠治教授が講演されました。地方鉄道における特性や鉄道存続の方策等、要点をついた内容で話をされて、「うーん納得！」と、改めて地方鉄道についての現状を理解しました。

事例発表は「三岐鉄道」「松浦鉄道」の2つの事例の発表があり、このうち三岐鉄道の“地域と密着した運営でがんばっている例”として、女性駅長・パークアンドライド・自転車の持ち込みOKを始めとした、ROBAでも提案しているハードからソフトの部分をきっちり実践しているようです。

サミット会議は上岡直見さんを議長に、意見交換やサミット宣言等の採択を行いました。ここでちょっとしたハプニング？があり、一部の沿線市町村の方が帰られてしまい、会場からの意見として4名の方が発表をされました。

サミットが終わって何日か過ぎました。今こうして資料を手に読み返して、やっぱり公共交通はまちづくりには欠かせないぞ！と思います。本当の意味での私達の足になるように、一日も早くそんな日が来るように、みんなの協力とひとり一人の心がけや思いやりが大事だなあーと、つくづく思いました。

追伸…満員の会場には、いまどきの若いおにいさんやおねえさん、おくさまの姿がちらほら見えました。（報告 はた）



安部先生の講演



サミット風景



入口で電車のある風景の絵画が展示されていた

『鉄道問題 市民団体交流会 byROBA』を開催する！

日時：平成14年11月30日 19:00～21:30

参加団体：北勢軽便鉄道をよみがえらせる会、阿下喜駅を残す会、全国鉄道利用者会議
ふるさと線を守る東日本連絡会

参加者：(ROBAの会) 高橋、清水、佐藤、谷村、門、玉井、坂川、内田
(京福問題から福井の未来を考える市民連合)堤端
(前掲4団体) 6名 全15名

翌日開催される地方鉄道サミット（勝山）に参加する市民団体の方に呼びかけし、市民団体としての問題点や対処策について意見交換をいたしました。内外で活動しておられる団体との交流は、これからも機会あるごとに実施していきます。みなさん、是非参加して下さい。



《《第3回まちづくり懇談会報告》》

日 時：平成14年12月5日 19:10～21:10

場 所：まちなかNPO（駅前商店街）会議室

参加者：高橋、清水、川口、佐藤、坂川、谷村、野嶋、内田

議 題：議題提起と司会進行は、まちなかNPO。

●『中央1丁目グランドデザイン』というタイトルで南伊井興業伊井社長から5つの行政へのお願いの説明。

1. 西側駅広を本来の駅前広場にもどす。
2. 連続下のJR月地内に交通結節としてのバスターミナルを。
3. 福鉄ヒゲ線の撤去をお願いしたい。
4. 幸橋の架け替え工法の見直しを。
5. 公共駐車場の整備

●駅前のデザイン

駅前商店街が作成した中心市街地のグランドデザインの企画書を説明・提案

●『中心市街地の再生と公共交通』と題して議論

駅前商店街としては、福井鉄道の将来の不安と駅前通りの活用に支障を来たすとのことから、いわゆるヒゲ線の存続と中心市街地の活性化について意見交換を行ないました。

本件に関してROBAの会は、現状の電車の装置としては不十分ではあるがLRTとして活用し、歩行者と電車の共存が可能となれば、福井のまちの新たな魅力が見出せると主張しました。

また、現在の車社会にあっては、クルマの便利さも達成しなければならず、使い易い駐車場と安心して歩ける歩行空間も必要であると主張しました。

○次回開催日時：2003年1月9日(木)19:00～ 場所：ヒーローズ

コーヒーと軽食をとりながら、ゆったりと・・・・・・・・

(文 内田)

活動報告

- 11月26日 福井鉄道福武線活性化検討協議会先進地視察 高岡・万葉線
- 11月30日 京都の公共交通の未来を創る市民フォーラム⑤ 「公共交通のネットワーク化を考える」
- 11月30日 ROBAの会11月作業部会の模様テレビ放送 福井テレビ16時10分「こんにちは市役所です」
- 11月30日 「鉄道存続のまちサミット IN かつやま」事前会議／市民団体交流会 IN 福井 by ROBA
- 11月30日 市民団体交流会 IN 福井 by ROBA
- 12月1日 「鉄道存続のまちサミット IN かつやま」基調講演・国土交通省講演・事例発表・本会議
- 12月5日 まちづくり懇談会 第三回
- 12月7日 まちかど探検隊(大阪)来福。市民活動セミナー2002「コラボしよう！」
- 12月8日 市民活動セミナー2002「コラボしよう！」
- 12月17日 12月作業部会
- 12月19日 路面電車どうしよう会議(岐阜)第一回
- 12月27日 12月例会

今後の予定

- 1月9日(木) まちづくり懇談会
- 1月14日(火) 「住みたくなるまちづくり」委員会 第三回
- 1月18日(土) 京都の公共交通の未来を創る市民フォーラム⑥ 「公共交通は誰が支えるのか」
- 1月21日(火) 1月作業部会
- 1月24日(金) 路面電車どうしよう会議(岐阜)第二回
- 1月25日(土) 「住みたくなるまちづくり」ワークショップ
- 1月31日(金) 1月例会
- 2月1日(土) 藤谷氏まちづくりセミナー
- 2月15日(土) 路面電車ネットワーク設立総会(東京)／ユニバーサルデザインワークショップ
- 2月18日(火) 2月作業部会
- 2月28日(金) 2月例会

米沢 達

(よねざわ たつし☆1968)



私は鉄道の模型が好きで、入会したのも模型の展示をしたのがきっかけでした。福井鉄道の車両は非常に特色があり模型にするのも大変難しいのですが、とてもやりがいがあります

ちなみに最近作った300型という車両(急行で使われてるやつです)は車体とクーラーは東急、屋根はJR、正面は阪神、床下機器は名鉄、台車は東武と各社のパーツを寄せ集めてやっと完成しました。これからも地方私鉄の全車両の模型化(絶対無理?)を目指してがんばりたいと思っています(?)。



坂川 優

(さかがわ まさる☆1952)



豊かさの追求の前に環境・資源を考えなければならなくなった地球。産業空洞化の必然の掟として不況で税収が減り、更に少子化で納税者も減る日本。負担と責任だけ増え財源の無い「地方の時代」に福井は何を守り何を捨てるべきか。「合併して中核市になれば何とかなる？」訳はないのです！！大切なのは「将来価値」。将来の「住民意志」に応えるべく、的確な「未来選択」が成されねばなりません。粘り強い住民の方々への説得活動も必要。「自分が利用しないから」なら、音楽堂も老人施設も要らない人は多い筈。

「電車なんて要らない」と仰る方には、「クルマ(だけ)社会」で郊外の無料駐車場付き大規模店舗に勝てますか?」「公共交通無くしてマチが維持出来ますか?」「人口減少期に郊外商業で副都心?それでマチの空洞化防げますか?」「マチへ行くって、金沢に行く事になってしまっていないですか?」と問いかけましょう。福井の街で一緒に「新たな豊かさの価値」を創っていきましょうよ。そう呼びかけることこそROBAの役割では、と考えています。

「クルマ(だけ)社会」で郊外の無料駐車場付き大規模店舗に勝てますか?」「公共交通無くしてマチが維持出来ますか?」「人口減少期に郊外商業で副都心?それでマチの空洞化防げますか?」

「マチへ行くって、金沢に行く事になってしまっていないですか?」と問いかけましょう。福井の街で一緒に「新たな豊かさの価値」を創っていきましょうよ。そう呼びかけることこそROBAの役割では、と考えています。

門 善孝

(かど よしたか☆1950)

「終着駅勝山からの声」

京福電車の廃線発表があった後、各種団体からいろんな動きがあったものの、勝山全体の声にはならず、なくなっても良いのかと自問自答しました。



その時に考えたことは、まず自分はどうなのか。自分の立場や格好ばかり考えて、自分を守ろうという気持ちが強く、回りの意見ばかり気にして何にもしない自分に気がきました。

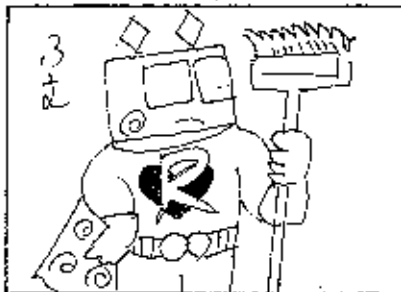
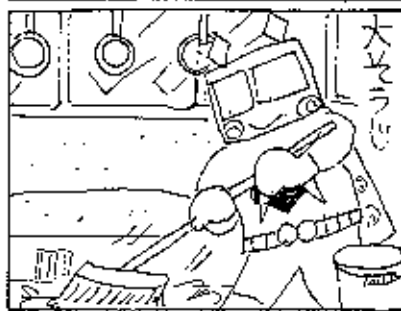
行政にかかわる自分の体験から言えることは、社会的基盤が無くなれば、その時は気づかなくても、地域の活力がじわりじわりと無くなることは、火を見るよりも明らかと解っているのに、何にもしなかった公務員にはなりたくない。

子供の頃から、母親と一緒に電車に乗った楽しさを思い出し、自分がほしいから残すんだと、気持ちの持ち方を変えたことから、今の自分の素直なパワーが産み出たのでした。

福井に来たならばいろんな人と出会いがあり、いろんなパワーを買っていることに感謝するとともに、人と人との絆を強めネットワークを広げることにより、全国津々浦々まで鉄道の大切さを守り続けたいと思っています。ROBAの会の活動に参加しながら、皆さんと共に楽しんで行動したいと思っています。

勝山 ぶるさとと鉄道を守る会 事務局

快速!! 路面ライダ-



作…漆崎耕次

編集後記……編集委員より一言!

林 (編集長)

「2月に写真展ヤルゾー」

清水 (副編集長)

「シングルベルって、キツイナ」

川口 (副編集長)

「卒論だ! 卒論だ……!」

内田 (発行責任者)

「4月の総会から早12月、時の流れは早いもう」

ゆうじんの部屋 書籍紹介

2002 国土交通行政ハンドブック

—国土交通省の事業・制度のすべて—

監修 国土交通省総合政策局政策課

編著 国土交通政策研究会

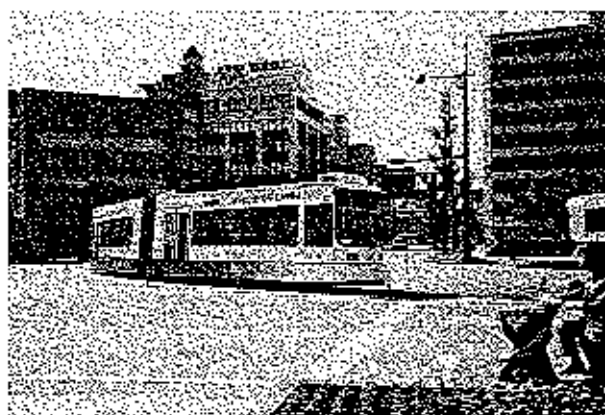
大成出版社 5,500円

日本の補助金制度は複雑怪奇である。ベテランの自治体職員であっても、例えば複合的な箱物を建設しようとした時、各省にどんな補助金があって、どう組み合わせるのが最適かを即座に答えられる人は少ない。

また、補助金の多くはたいして内容が変わらないのに統廃合を繰り返し、看板がどんどん架け替えられていく。国土交通省に入省して16年の私でも、以前担当していた事業が名前を変えていたり統廃合されていてわからないことが多く、どこに転動しても配属先ではこの本を探し、使える場所に置いている。以前はページ数が半分くらいであったが、省庁再編で分厚くなり、値段も高くなってしまった。

その分、国土交通省の各制度の概要が網羅されていて、国土交通分野の政策の全容を知るとい読み物として使うこともできる。つくづく国家公務員は仕事を作るのが好きだなと思ってしまう。

(文・美濃部)



熊本市内を走るLRV

事務局

ふくい路面電車とまもづくりの会

910-8031 福井市穂池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968 e-mail: yoba@mbh.nifty.com

URL: homepage2.nifty.com/tram-fukui